

教育研究業績書

2018年11月21日

所属：健康生命薬科学科

資格：助教

氏名：葉山 登

研究分野	研究内容のキーワード
有機化学	有機触媒、不斉合成、共役付加、カルボン酸
学位	最終学歴
博士（薬科学）	京都大学大学院薬学研究科

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
1. 薬学基礎実験	2017年1月～現在	健康生命薬科学科1年次学生対象の実習において実験を指導した。
2. 薬学基礎演習II	2016年9月～現在	薬学科1年次学生、健康生命薬科学科1年次学生対象の演習において、専門基礎科目の理解を深めるため個別指導を実施した。
3. 研究室配属学生への研究指導	2016年4月～現在	研究室配属学生を対象に研究テーマを与え実験を指導した。
4. 有機化学実験（有機化合物をつくる、基礎有機化学実験）	2016年4月～現在	薬学科2年次学生、健康生命薬科学科2年次学生対象の実習において実験を指導した。
2 作成した教科書、教材		
1. 「有機化学実験（有機化合物をつくる、基礎有機化学実験）」におけるテキスト	2016年4月	実習に用いるテキストを指導教員と共に作成し、毎年改定を行っている。
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		
1. 科学演習Ⅲ	2016年5月～現在	武庫川女子大学付属高等学校のSSHに在籍する学生を対象の実習において実験を指導した。

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
1. 危険物取扱者免状（甲種）	2011年8月～現在	
2. 薬剤師免許	2008年8月～現在	
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		
1. 認定実務実習指導薬剤師養成のためのワークショップ 受講	2016年10月29日2016年10月30日	

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
2 学位論文				
1. チオ尿素-ボロン酸ハイブリッド触媒の開発と α 、 β -不飽和カルボン酸の触媒的不斉マイケル付加反応への応用	単	2015年3月	京都大学	チオ尿素とボロン酸を有する触媒を用いた α 、 β -不飽和カルボン酸への不斉マイケル付加反応の開発に関する論文
3 学術論文				
1. Mechanistic Insight into Asymmetric Hetero-Michael Addition of α , β -Unsaturated Carboxylic Acids Catalyzed by Multifunctional Thioureas (査読付)	共	2018年	J. Am. Chem. Soc. 140 (38) 12216-12225	Hayama, N.; Kuramoto, R.; Foldes, T.; Nishibayashi, K.; Kobayashi, Y.; Papai, I.; Takemoto, Y. α 、 β -不飽和カルボン酸に対する不斉マイケル付加反応において反応機構解析と反応の最適化を行った。
2. Copper-Catalyzed Intramolecular C-H Amination: A New Entry to Substituted Xanthine Derivatives (査読付)	共	2017年	Synthesis 49(18) 4183-4190	Shimizu, M.; Hayama, N.; Kimachi, T.; Inamoto, K. 銅触媒を用いる分子内C-Hアミノ化反応を経由したキサンチン類合成を行った。
3. Construction of Seven Contiguous Chiral Centers by Two Methods: Quadruple Michael Addition vs Stepwise Double-Double Mi	共	2016年	ChemistrySelect. 1(10) 2565-2569	Ozeki, M.; Hayama, N.; Fukutome, S.; H. Egawa, K. Arimitsu, T. Kajimoto, S.; Hosoi, S.; Iwasaki, H.; Kojima, N.; Node, M.; Yamashita, M. 不斉補助基を用いた不斉アザマイケル付加反応によ

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
Michael Addition Controlled by Adding Speed of Michael Acceptor (査読付)				り、多連続不斉炭素の構築を行った。
4. Chiral Integrated Catalysts Composed of Bifunctional Thiourea and Arylboronic Acid: Asymmetric Aza-Michael Addition of α, β -Unsaturated Carboxylic Acids (査読付)	共	2016年	Chem. Pharm. Bull. 64 (7) 704-717	<u>Hayama, N.</u> ; Azuma, T.; Kobayashi, Y.; Takemoto, Y. ボロン酸とチオ尿素を有する触媒を用いた α, β -不飽和カルボン酸への不斉アザマイケル付加反応の開発を行った。
5. A Powerful Hydrogen-Bond-Donating Organocatalyst for the Enantioselective Intramolecular Oxa-Michael Reaction of α, β -Unsaturated Amides and Esters (査読付)	共	2013年	Angew. Chem., Int. Ed. 52(42) 11114-11118	Kobayashi, Y.; Taniguchi, Y.; <u>Hayama, N.</u> ; Inokuma, T.; Takemoto, Y. ベンゾチアジアジン触媒を用いた α, β -不飽和エステル、アミドへの不斉ヘテロマイケル付加反応の開発を行った。
6. One-Pot Construction of Multiple Contiguous Chiral Centers Using Michael Addition of Chiral Amine (査読付)	共	2010年	J. Org. Chem. 75(12) 4201-4211	Ozeki, M.; Ochi, S.; <u>Hayama, N.</u> ; Hosoi, S.; Kajimoto, T.; Node, M. 不斉補助基を用いた不斉アザマイケル付加反応により、多連続不斉炭素の構築を行った。
7. The first enantioselective synthesis of imino-deoxydigitoxose and protected imino-digitoxose by using l-threonine aldolase-catalyzed aldol condensation (査読付)	共	2009年	Tetrahedron: Asymmetry. 20(2) 230-234	Nishiyama, T.; Kajimoto, T.; Mophile, S. S.; <u>Hayama, N.</u> ; Otsuda, T.; Ozeki, M.; Node, M. 酵素反応を利用したイミノジギトキシソースの合成研究を行った。
その他				
1. 学会ゲストスピーカー				
2. 学会発表				
1. α, β -不飽和カルボン酸の不斉チアマイケル付加反応の開発	共	2018年11月	第44回反応と合成の進歩シンポジウム(熊本)	<u>葉山登</u> , 稲本浄文, 小林祐輔, 竹本佳司, 来海徹太郎
2. 水素結合供与型触媒を用いた脱炭酸型不斉アルドール反応の開発	共	2018年10月	第68回日本薬学会近畿支部総会・大会(姫路)	徳弘佑介, <u>葉山登</u> , 小林祐輔, 竹本佳司
3. ロジウム触媒を利用する新規2,3-二置換ベンゾチオフェン環構築法の開発	共	2018年10月	第68回日本薬学会近畿支部総会・大会(姫路)	稲本浄文, 水上玲穂, 次田舞花, 下良茉莉, 田中咲妃, 宮崎杏奈, <u>葉山登</u> , 来海徹太郎
4. 経口投与化を目指したペメトレキサドのプロドラッグ化の研究	共	2018年03月	日本薬学会第138年会(金沢)	佐野令奈, 富田英里, 泉ありさ, <u>葉山登</u> , 宮崎杏奈, 稲本浄文, 太田彪嗣, 大林優夢, 坂井裕美, 中村光, 前川智弘, 大鳥徹, 松山賢治, 来海徹太郎
5. ロジウム触媒を用いた新規2,3-二置換ベンゾフラン合成法の開発	共	2017年10月	第67回日本薬学会近畿支部総会・大会(神戸)	水上玲穂, 林優奈, <u>葉山登</u> , 来海徹太郎, 稲本浄文
6. 経口投与化を目指したペメトレキサドのモノメドキシソミル及びジメドキシソミルエステルプロドラッグの合成と評価	共	2017年10月	第35回メディシナルケミストリーシンポジウム(名古屋)	佐野令奈, 富田英里, <u>葉山登</u> , 宮崎杏奈, 稲本浄文, 太田彪嗣, 大林優夢, 坂井裕美, 中村光, 前川智弘, 大鳥徹, 松山賢治, 来海徹太郎
7. 経口投与化を目指したペメトレキサドのモノメドキシソミル及びジメドキシソミルエステルプロドラッグの合成と評価	共	2017年10月	第67回日本薬学会近畿支部総会・大会(神戸)	佐野令奈, 富田英里, <u>葉山登</u> , 宮崎杏奈, 稲本浄文, 太田彪嗣, 大林優夢, 坂井裕美, 中村光, 前川智弘, 大鳥徹, 松山賢治, 来海徹太郎
8. Asymmetric Aza-Michael Addition to α, β -Unsaturated Carboxylic Acids: Enantioselective Synthesis of Anti-Diabetic Drug Sitagliptin	共	2017年06月	OMCOS19 (Jeju)	<u>Noboru Hayama</u> , Yusuke Kobayashi, Tetsutaro Kimachi, Yoshiji Takemoto
9. 新規ナフトキノン誘導体6-TMNQの血管新生および腫瘍増殖に対する抑制効果	共	2017年03月	日本薬学会第137年会(仙台)	新屋智寛, 山村早紀, 前田恭佳, 阪中麻利子, 山下裕佳, <u>葉山登</u> , 稲本浄文, 来海徹太郎, 高橋悟
10. α, β -不飽和カルボン酸への直截的不斉アザマイケル付加反応による糖尿病薬シタグリブチンの合成研究	共	2017年03月	日本薬学会第137年会(仙台)	<u>葉山登</u> , 関本英里子, 西林和也, 稲本浄文, 来海徹太郎, 小林祐輔, 竹本佳司
11. ロジウム触媒開環反応を用いた新規2,3-二置換インドールおよびベンゾフラン合成法の開発	共	2017年03月	日本薬学会第137年会(仙台)	水上玲穂, 伊勢悠見, 山内彩樺, <u>葉山登</u> , 来海徹太郎, 稲本浄文
12. 銅触媒を用いたC-H開環反応によるキサンチン骨格の新規構築法の開発	共	2017年03月	日本薬学会第137年会(仙台)	清水麻希, <u>葉山登</u> , 来海徹太郎, 稲本浄文
13. α, β -不飽和カルボン酸の触媒的不斉アザマイケル付加反応による	共	2016年06月	第5回JACI/GSCシンポジウム(神戸)	<u>葉山登</u> , 小林祐輔, 来海徹太郎, 竹本佳司

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
2. 学会発表				
直截的β-アミノ酸合成法の開発				
14. チオ尿素-ボロン酸ハイブリッド触媒によるα, β-不飽和カルボン酸の不斉触媒的不斉	共	2016年05月	第14回次世代を担う有機化学シンポジウム(東京)	葉山登, 小林祐輔, 竹本佳司
15. 多機能性ボロン酸触媒を用いるα, β-不飽和カルボン酸の分子間アザマイケル付加反応の開発	共	2016年03月	日本薬学会第136年会(横浜)	葉山登, 東巧, 小林祐輔, 竹本佳司
16. Tocopherol 誘導体合成を志向した不斉分子内オキサマイケル反応の開発	共	2016年03月	日本薬学会第136年会(横浜)	倉本竜太, 葉山登, 小林祐輔, 竹本佳司
17. DPP-4阻害薬シタグリプチンの合成を目的としたα, β-不飽和カルボン酸の不斉アザマイケル付加反応の開発	共	2016年03月	日本薬学会第136年会(横浜)	葉山登, 西林和也, 小林祐輔, 竹本佳司
18. tocopherol 誘導体合成を志向した不斉分子内オキサマイケル反応の開発	共	2016年01月	「有機分子触媒による未来型分子変換」第6回公開シンポジウム(大阪)	小林祐輔, 倉本竜太, 葉山登, 竹本佳司
19. α, β-不飽和カルボン酸への分子間不斉アザマイケル付加反応の開発～直接的β-アミノ酸の合成法の開発～	共	2015年10月	第65回日本薬学会近畿支部総会・大会(大阪)	葉山登, 東巧, 小林祐輔, 竹本佳司
20. 不斉四置換炭素を有するクロマン骨格構築法の開発～α, β-不飽和カルボン酸の不斉分子内オキサマイケル反応の開発～	共	2015年10月	第65回日本薬学会近畿支部総会・大会(大阪)	倉本竜太, 葉山登, 小林祐輔, 竹本佳司
21. α, β-不飽和カルボン酸の不斉分子間アザマイケル付加反応の開発	共	2015年05月	第8回有機触媒シンポジウム(那覇)	葉山登, 東巧, 小林祐輔, 竹本佳司
22. アリアルボロン酸触媒を用いるα, β-不飽和カルボン酸への分子間アザマイケル付加反応の開発	共	2015年03月	日本薬学会第135年会(神戸)	葉山登, 東巧, 小林祐輔, 竹本佳司
23. 有機触媒を用いる脱炭酸型不斉マンニッヒ反応の開発	共	2014年03月	日本薬学会第134年会(熊本)	葉山登, Taryn MARCH, 小林祐輔, 竹本佳司
24. 不活性α, β-不飽和アミド及びエステルの不斉分子内オキサマイケル付加反応の開発	共	2013年11月	第39回反応と合成の進歩シンポジウム(福岡)	小林祐輔, 谷口大和, 葉山登, 猪熊翼, 竹本佳司
25. キラルアミンのtandem型不斉Michael付加反応による多連続不斉炭素構築法の開発	共	2011年10月	第61回日本薬学会近畿支部総会・大会(神戸)	福留慎太郎, 佐竹恵, 樋爪稔典, 葉山登, 岩崎宏樹, 小関稔, 野出學, 山下正行
26. Tandem型反応による多連続不斉炭素の立体選択的構築法の開発	共	2010年03月	日本薬学会第130年会(岡山)	葉山登, 越智俊輔, 小関稔, 細井信造, 野出學
27. キラルアミンの不斉Michael付加反応を用いた多連続不斉炭素の構築	共	2010年03月	難病克服を目指した分子基盤創薬科学の開拓成果発表会(京都)	小関稔, 葉山登, 越智俊輔, 細井信三, 梶本哲也, 野出學
28. One-pot Construction of Multi Contiguous Chiral Carbons by Using Asymmetric Michael Addition of Chiral Amine	共	2009年11月	IKCOC-11 (Kyoto)	Minoru Ozeki, Noboru Hayama, Syunsuke Ochi, Tetuya Kajimoto, Manabu Node
29. リサイクル型キラルアミンを不斉反応剤とする多連続不斉炭素の構築	共	2009年11月	第29回有機合成若手セミナー(神戸)	葉山登, 越智俊輔, 小関稔, 細井信造, 野出學
30. キラルアミンの不斉Michael付加: 多連続不斉炭素のone-pot構築法の開発	共	2009年11月	第35回反応と合成の進歩シンポジウム(金沢)	小関稔, 越智俊輔, 葉山登, 梶本哲也, 野出學
31. リサイクル型キラルアミンを不斉反応剤とする多連続不斉炭素の構築	共	2009年10月	第59回日本薬学会近畿支部総会・大会(大阪)	葉山登, 越智俊輔, 小関稔, 細井信造, 野出學
32. キラルアミンによる不斉Michael付加とNISによる不斉補助基の新規除去法	共	2009年10月	第12回ヨウ素学会シンポジウム(千葉)	葉山登, 小関稔, 越智俊輔, 梶本哲也, 細井信造, 野出學
33. Tandem型不斉Michael付加反応を基盤とした多連続不斉炭素の立体選択的構築法の開発	共	2009年10月	第59回日本薬学会近畿支部総会・大会(大阪)	小関稔, 越智俊輔, 葉山登, 梶本哲也, 野出學
34. L-スレオニアルドラーゼを利用したアザジキトキソース誘導体の合成	共	2009年09月	第29回日本糖質学会年会(岐阜)	葉山登, 西山敏弘, 小関稔, 梶本哲也, 野出學
35. トリアルキルアミンの選択的脱アルキル化反応	共	2009年03月	日本薬学会第129年会(京都)	葉山登, 渡辺恒文, 小関稔, 加藤孝博, 梶本哲也, 野出學
36. N-ヨードコハク酸イミドを用いるC-N結合の選択的解裂反応	共	2008年11月	第11回ヨウ素学会シンポジウム(千葉)	葉山登, 渡辺恒文, 小関稔, 加藤孝博, 梶本哲也, 野出學
37. Tandem型反応による多連続不斉炭	共	2008年10月	第58回日本薬学会近	小関稔, 越智俊輔, 葉山登, 梶本哲也, 野出學

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
2. 学会発表				
素の立体選択的構築法の開発 38. トリアルキルアミンの選択的脱アルキル化反応	共	2008年10月	畿支部総会・大会（神戸） 第58回日本薬学会近畿支部総会・大会（神戸）	葉山登，渡辺恒文，小関稔，加藤孝博，梶本哲也，野出學
3. 総説				
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
6. 研究費の取得状況				

学会及び社会における活動等

年月日	事項
1. 2013年4月～現在	有機合成化学協会 会員
2. 2008年4月～現在	日本薬学会 会員